

ビジネスゲームM-Cass日商簿記検定2級対策講座

簿記検定2級工業簿記基礎力構築講座

工業簿記編

第1章：製品原価の計算と勘定連絡図の流れをおさえよう



本講義の目的

- 1、製品原価の計算を理解する。
- 2、製品原価の計算における勘定連絡図の流れを理解する。

目 次

第2章：製品原価の計算と勘定連絡図の流れをおさえよう

1、はじめに	P3
2、基本例題 I-1(製品原価の計算)	P3
3、基本例題 I-2(製品原価の計算その2)	P6
4、勘定記入の考え方	P8
5、基本例題 I-3(決算書を作って原価を報告)	P8
6、基本例題 I-4(工業簿記による記帳)	P12
7、コラム「まずは強い思いを持つことが大切」	P16

第1章:製品原価の計算と勘定連絡図の流れをおさえよう

1、はじめに

日商簿記検定1級における工業簿記・原価計算の問題では、総合問題形式で出題されることがあります。総合問題では、たくさんの資料が与えられるので、どこからどのように計算してよいのか分からなくなることがあります。では、どのように学習すれば総合問題に対処できるようになるのでしょうか。

このような総合問題に対処できるようにするために、まずは「勘定連絡図の流れ」をしっかりと頭に入れることが重要です。当テキストでは、製品原価の計算から、その勘定連絡図の流れを確認していきます。

2、製品原価の計算の考え方

工業簿記の学習では、様々な専門用語から計算式、勘定の記入などができますので、製品原価の計算は難解で難しいものには感じますが、計算自体はラーメン屋さんがラーメンの原価を計算したり、お弁当屋さんがお弁当の原価を計算するのと変わりません。要は常識的に、物事の道理に沿って考えていけばいいのです。

そのうえで、工業簿記・原価計算特有の概念(例えば機会原価とか)を押さえていくことが大切です。

そこで、このことを理解するために、まずは以下の例題における原価を計算してみましょう。

基本例題 I - 1

<製品原価の計算>

ラーメン屋さんは始めることになったあなたは、お店で豚骨ラーメンと味噌ラーメンを出すことにしました。いくらでラーメンを出すか、売価を決定するためには、まずそれぞれの原価を計算しなければなりません。そこで、2種類のラーメンを作ってみて、それぞれにかかる費用の領収書を集計してみたところ、以下のようになりました。豚骨ラーメンと味噌ラーメンの原価を計算しなさい。

「資料1」材料代に関する資料

1. 麺代:60円(60g) 豚骨ラーメンと味噌ラーメンに30gずつ投入
2. 豚骨代:50円(100g) 豚骨スープを作るために使用
3. 味噌代:30円(50g) 味噌スープを作るために使用

「資料2」労務費に関する資料

1. ラーメンを作る従業員に対する給料:60円
2. 豚骨ラーメンを作るのに3時間、味噌ラーメンを作るのに3時間の作業時間がかかっている
3. お店の事務をやっているパートさんの給料40円

「資料3」経費に関する資料

1. お店の電気代:80円
2. 店舗の家賃300円

〔解答欄〕

原価を計算するための表		
	豚骨ラーメン	味噌ラーメン
【材料費の計算】		
麺代60円		
豚骨代50円		
味噌代30円		
【労務費の計算】		
従業員の給料60円		
パートさんのパート代40円		
【経費の計算】		
お店の電気代80円		
店舗の家賃300円		
【製品原価】		

〔解 答〕

原価を計算するための表		
	豚骨ラーメン	味噌ラーメン
【材料費の計算】		
麺代60円	30円	30円
豚骨代50円	50円	
味噌代30円		30円
【労務費の計算】		
従業員の給料60円	30円	30円
パートさんのパート代40円	?	?
【経費の計算】		
お店の電気代80円	?	?
店舗の家賃300円	?	?
【製品原価】	?	?

〔解 説〕

問題を出題しておきながら、皆様に誤らなければなりません。

そうです。当問題の資料だけでは製品原価の計算はできないのです。ここでは、製品原価の計算は常識的に考えていけばいいこと、そして、常識的に考えても原価を計算するうえで、「ある問題点」にぶつかることを理解していただくことを目的としています。

では、その「ある問題点」とは何かというと、計算していただいてもお分かりの通り、事務のパートさんのパート代やお店の電気代、店舗の家賃といった費用については、直接的に原価を集計できないということです。

そして、これらの原価がいわゆる間接費であり、製品原価を計算するうえで最大の問題となる部分になります。

ラーメン屋さんは始めることになったあなたは、お店で豚骨ラーメンと味噌ラーメンを出すことにしました。いくらでラーメンを出すか、売価を決定するためには、まずそれぞれのラーメンの原価を計算しなければなりません。そこで、「基本例題 I - 1」の資料に以下の資料を追加して、豚骨ラーメンと味噌ラーメンの原価を計算しなさい。

「追加資料」 製造間接費に関する資料

1. 間接労務費と間接経費については、製造間接費として集計する
2. 製造間接費については、直接作業時間(ラーメンを作る時間)を基準に配賦する
3. 配賦額は実際配賦とする

【解答欄】

原価を計算するための表		
	豚骨ラーメン	味噌ラーメン
【材料費の計算】		
麺代60円	30円	30円
豚骨代50円	50円	
味噌代30円		30円
【労務費の計算】		
従業員の給料60円	30円	30円
パートさんのパート代40円	()	()
【経費の計算】		
お店の電気代80円	()	()
店舗の家賃300円	()	()
【製品原価】	()	()

〔解 答〕

原価を計算するための表		
	豚骨ラーメン	味噌ラーメン
【材料費の計算】		
麺代60円	30円	30円
豚骨代50円	50円	
味噌代30円		30円
【労務費の計算】		
従業員の給料60円	30円	30円
パートさんのパート代40円	20円	20円
【経費の計算】		
お店の電気代80円	40円	40円
店舗の家賃300円	150円	150円
【製品原価】	320円	300円

〔解 説〕

本問では、正確な製品原価の計算において、製造間接費の配賦計算が問題となることを理解していただく内容となっています。このラーメンの計算のように、麺代とか、豚骨代といった直接費の計算は簡単です。

原価の計算では、製品に直接跡づけできない「間接費」をどうするのが問題となるのです。

このため、とりあえず、間接費に関しては製造間接費勘定に集めてしまい、何らかの「配賦基準」で配賦することになります。本問では、「直接作業時間を基準に配賦」となっていますので、製造間接費の金額420円を、直接時間「豚骨ラーメン3時間」と「味噌ラーメン3時間」の比率で配分計算をします。以上により、豚骨ラーメンの原価は320円、味噌ラーメンの原価は300円と計算できます。



3、勘定記入の考え方

先ほどは、一枚の紙(原価を計算する表)で原価を計算しました。しかし、個人の商店では、これでもくても、会社となるとそれでお終いとはいきません。なぜなら、会社では決算書を作らなければならないからです。

製造業の会社は、製品原価の計算について、製造原価報告書と損益計算書、貸借対照表において報告しなければならないのです。では、先ほどのラーメンの例でこのことをみてみましょう。

基本例題 I - 3

<決算書を作って原価を報告>

【基本例題 I - 2】で作成した原価計算表をもとにして、以下の財務諸表を作成しなさい。

なお、豚骨ラーメンは販売されたものの、味噌ラーメンは売れ残ったとして期末製品として扱うこと。

原価を計算するための表		
	豚骨ラーメン	味噌ラーメン
【材料費の計算】		
麺代60円	30円	30円
豚骨代50円	50円	
味噌代30円		30円
【労務費の計算】		
従業員の給料60円	30円	30円
パートさんのパート代40円	20円	20円
【経費の計算】		
お店の電気代80円	40円	40円
店舗の家賃300円	150円	150円
【製品原価】	320円	300円

〔解答欄〕

製造原価報告書

I	材 料 費	
II	労 務 費	
III	経 費	
	合 計	
	当 期 製 品 製 造 原 価	

損益計算書

I	売 上 高	×	×	×
II	売 上 原 価			
	1. 当 期 製 品 製 造 原 価			
	2. 期 末 製 品 棚 卸 高			
	合 計			

貸借対照表

	資 産 の 部		負 債 の 部
I	流 動 資 産		
	製 品		

[解答]

製造原価報告書

I	材 料 費	140
II	労 務 費	100
III	経 費	380
	合 計	620
	当期製品製造原価	620

損益計算書

I	売 上 高	×	×	×
II	売 上 原 価			
1.	当期製品製造原価	620		
2.	期末製品棚卸高	300		
	合 計	320		

貸借対照表

資 産 の 部	負 債 の 部
I 流 動 資 産	
製 品	300

【解説】

本問では、【基本例題 I -2】で作成した原価計算表から、各種の報告書を作っていました。

このように、会社では、計算した原価を「製造原価報告書」によって報告し、そのうち売上原価となった分を「損益計算書」で報告し、そして売れ残った分を「貸借対照表」で報告します。本問だけですと、工業簿記なんていないように感じます。しかし、麺について、すべてを消費せずに未消費分があった場合はどうなるでしょうか？

また、お店に「これからはラーメン屋もITの時代だ！」とあってパソコンを導入した場合はどうなるでしょうか？

これらの金額はすぐに費用とはなりませんので、原価計算表にはあがってきません。しかし、お金を払っていますし、何より会社の資産になるものですから、決算書に記載しなければいけません。つまり、原価計算表だけではこのような原価の記帳ができないため、決算書を作ることができないのです。そこで、工業簿記が登場します。

製造原価報告書

I	材 料 費	140
II	労 務 費	100
III	経 費	380
	合 計	620
	当 期 製 品 製 造 原 価	620

損益計算書

I	売 上 高	× × ×
II	売 上 原 価	
	1. 当 期 製 品 製 造 原 価	620
	2. 期 末 製 品 棚 卸 高	300
	合 計	320

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 の 部	
I	流 動 資 産		
	製 品		300

ラーメン屋さんは始めることになったあなたは、お店で豚骨ラーメンと味噌ラーメンを出すことにしました。いくらでラーメンを出すか、売価を決定するためには、まずそれぞれの原価を計算しなければなりません。そこで、2種類のラーメンを作ってみて、それぞれにかかる費用の領収書を集計してみたところ、以下のようになりました。豚骨ラーメンと味噌ラーメンの原価について、簿記によって仕訳帳と総勘定元帳に記帳し、計算しなさい。なお、当店はすべて現金により決済をしている。

「資料1」 材料代に関する資料

1. 麺の購入代:60円(60g) 豚骨ラーメンと味噌ラーメンに30gずつ投入
2. 豚骨購入代:50円(100g) 豚骨スープを作るためにすべて使用
3. 味噌購入代:30円(50g) 味噌スープを作るためにすべて使用

「資料2」 労務費に関する資料

1. ラーメンを作る従業員に対する給料:60円
2. 豚骨ラーメンを作るのに3時間、味噌ラーメンを作るのに3時間の作業時間がかかっている
3. お店の事務をやっているパートさんの給料40円

「資料3」 経費に関する資料

1. お店の電気代:80円
2. 店舗の家賃300円

「資料4」 製造間接費に関する資料

1. 間接労務費と間接経費については、製造間接費として集計する
2. 製造間接費については、直接作業時間(ラーメンを作る時間)を基準に配賦する
3. 配賦額は実際配賦とする

「資料5」 その他の資料

1. 豚骨ラーメンと味噌ラーメンはともに完成した
2. 豚骨ラーメンは売価500円で現金販売したが、味噌ラーメンは売れ残ったものとする

〔解答欄〕

仕 訳 帳						
取 引	借	方	金 額	貸	方	金 額
材料購入の仕訳						
麵						
豚骨						
味噌						
材料消費の仕訳						
麵						
豚骨						
味噌						
賃金支払の仕訳						
従業員給料						
パート代						
消費の仕訳					※間接労務費は製造間接費勘定へ振り替えること	
従業員給料						
パート代						
経費支払の仕訳						
電気代						
家賃						
消費の仕訳					※間接経費は製造間接費勘定へ振り替えること	
電気代						
家賃						

[解答]

仕 訳 帳						
取 引	借	方	金 額	貸	方	金 額
製造間接費配賦						
豚骨ラーメン						
味噌ラーメン						
完成品の仕訳						
豚骨ラーメン						
味噌ラーメン						
売上の仕訳						
豚骨ラーメン						

総勘定元帳 ※転記はラーメン等の種類に係らずまとめてすること

材 料		仕掛品		製 品
賃 金		製造間接費		売上原価
経 費				売 上

[解答]

仕 訳 帳							
取 引	借	方	金 額	貸	方	金 額	
材料購入の仕訳							
麵	材	料	60	現	金	60	
豚骨	材	料	50	現	金	30	
味噌	材	料	30	現	金	30	
材料消費の仕訳							
麵	仕	掛	品	60	材	料	60
豚骨	仕	掛	品	50	材	料	50
味噌	仕	掛	品	30	材	料	30
賃金支払の仕訳							
従業員給料	賃	金	60	現	金	60	
パート代	賃	金	40	現	金	40	
消費の仕訳							
従業員給料	仕	掛	品	60	賃	金	60
パート代	製	造	間	接	賃	金	40
経費支払の仕訳							
電気代	経	費	80	現	金	80	
家賃	経	費	300	現	金	300	
消費の仕訳							
電気代	製	造	間	接	経	費	80
家賃	製	造	間	接	経	費	300

[解 答]

仕 訳 帳							
取 引	借	方	金 額	貸	方	金 額	
製造間接費配賦							
豚骨ラーメン	仕	掛	品	210	製 造 間 接 費	210	
味噌ラーメン	仕	掛	品	210	製 造 間 接 費	210	
完成品の仕訳							
豚骨ラーメン	製		品	320	仕 掛 品	320	
味噌ラーメン	製		品	300	仕 掛 品	300	
売上の仕訳							
豚骨ラーメン	売	上	原 価	320	仕 掛 品	320	
	現		金	500	売	上	500

総勘定元帳 ※転記はラーメン等の種類に係らずまとめてすること

材 料		仕掛品		製 品	
現 金140	仕掛品140	材 料 140	製 品 620	仕掛品 620	売上原価 320
		賃 金 60			次月繰越 300
		製造間接費420			
賃 金		製造間接費		売上原価	
現 金100	仕掛品60	賃 金 40	仕掛品 420	製 品 320	
	製造間接費40	経 費380			
経 費				売 上	
現 金380	製造間接費380				現 金 500

【解説】

工業簿記では、材料を購入し、消費したり等といった製造活動について、その製造活動の仕訳をして仕訳帳に記帳し、元帳に転記していくことで記録していきます。このことを、「麺」(材料費)を題材にみえてみると、以下のようになります。

「資料1」 材料代に関する資料

1. 麺の購入代:60円(60g) 豚骨ラーメンと味噌ラーメンに30gずつ投入

仕 訳 帳							
取 引	借	方	金 額	貸	方	金 額	
材料購入の仕訳							
麺	材	料	60	現	金	60	
材料消費の仕訳							
麺	仕	掛	品	60	材	料	60

総勘定元帳



上記のように、材料(麺)を60円で購入したときは、その仕訳を仕訳帳に記帳し、仕訳の金額を元帳の材料勘定の借方に転記します。そして、材料を消費したときは、材料勘定から仕掛品勘定へと消費額を振り替えるため、借方に仕掛品60と仕訳をし、貸方に材料60と仕訳をします。このように、工業簿記では、製品原価の計算だけでなく、その計算を会計帳簿に記録する「勘定記入」についても問われ、その記入にあたっては「複式簿記」を使うという点を理解しておく必要があります。

そして、このことが「工業簿記の問題を難しく感じさせている」要因なのです。原価の計算自体は常識的に考えれば当たり前の方法ばかりですが、その記録を複式簿記を使うために、「勘定ができて、借方に何を書くのか、差異は借方差異なのか、貸方差異なのか、相手科目は何を書くのか」、といったことで悩むことになります。

よって、工業簿記をマスターするポイントとして、以下のことが挙げられます。ぜひ、参考にしてください。

- ポイント①：製品原価の計算方法などを物事の道理にそって考えていく
- ポイント②：勘定記入の裏にある仕訳を考えるようにする
- ポイント③：仕訳から勘定記入を考えるようにする

コラム まずは強い思いを持つことが大切

今回は、わたくしが密かに尊敬する名経営者、京セラの創設者であり、現在はJALの再建に尽力しておられる「稲盛和夫」氏のお話をしたいと思います。稲盛和夫さんは、現在のKDDIの前身であるDDIを創設し、携帯電話事業にも参加して、auの基礎を築きあげた人でも有名です。その稲盛さんは、著書「生き方」で次のようなことを記しておられます。

「人生はその人の考えた所産であるというのは、多くの成功哲学の柱となっている考え方ですが、私もまた、自らの人生経験から「心が呼ばないものが自分に近づいてくるはずがない」ということを信念として強く抱いています。いいかえれば、その人の心の持ち方や求めるものが、そのままその人の人生を現実に形作っていくのであり、したがって事をなそうと思ったら、まずこうありたい、こうあるべきだと思ふこと。それもだれよりも強く身が焦げるほどの熱意をもって、そうありたいと願望することがなによりも大切になってきます。」

つまり、稲盛さんは、思いは現実となり、その人は自分が考えた通りの人生を歩むことになる、ということをおっしゃっているのだと思います。わたくしも自身の経験から、本当にその通りだと思えます。

あなた自身にも、1級に合格してその後に活躍している姿などのイメージがあることでしょうか。ぜひとも、そのイメージは大切にしてください。本当に、そのことを望み、真剣に努力するならば必ず叶うはずです。また、稲盛さんはその著書において次のようなことを記しています。

「もう、40年以上前のこと、松下幸之助さんの講演を初めて聴いたときのことでした。そこで松下さんは有名なダム式経営の話をしてくださいました。ダムを作って水をため、天候や環境に左右されることなく水量を常に一定にコントロールする。それと同じように、経営も景気のよいときこそ景気の悪い時に備えて蓄えをしておく、そういう余裕のある経営をすべきだという話をされたのです。この講演を聴いた経営者の一人が質疑応答の時間になったときにつぎのような不満をぶつけました。

「ダム式経営ができれば、たしかに理想です。しかし現実にはそれができない。どうしたらそれができるのか、その方法を教えてくれないことには話にならないじゃないですか」これに対し、松下さんはその温和な顔に苦笑を浮かべて、しばらく黙ってからポツリと「そんな方法は私も知りませんのや。知りませんけども、ダムを作ろうと思わんとあきまへんなあ」とつぶやかれたのです。答えになったとも思えない松下さんの言葉に、ほとんどの人は失望したようでした。しかし、私は失笑もしなければ失望もしませんでした。それどころか、体に電流が走るような大きな衝撃を受けたのでした。思わんとあきまへんなあ—この松下さんのつぶやきは私に、「まず思ふこと」の大切さを伝えていたのです。まずはダムを作りたいと思わなくてはならない。その思いがすべての始まりなのだ。松下さんはそういいたかったに違いありません。つまり、心が呼ばなければ、やり方も見えてこないし、成功も近づいてこない。だからまず強く、しっかりと願望することが重要である。そうすればその思いが起点となって、最後にはかならず成就する。だれの人生もその人が心に描いたとおりのものである。思いはいわば種であり、人生という庭に根を張り、幹を伸ばし、花を咲かせ身をつけるためのもっとも最初の、そしてもっとも重要な要因なのである。」

なんだか、本当に考えさせられる文章ですよ。何事においても、まずは思ふことから始めなければなりません。そして、次にはその思いを行動に移すことでしょうか。しかし、私達は大体において、周りの環境が安定するまでとか、まとまったお金が手に入るまでとか、資格が取得できるまでとか、なにかと思ひ、行動に移す前に外部の環境のせいになっているところがあります。蓄えが出来るくらいまで経営が安定してから、ダム式経営をおこなおうとしてもできない。経営がまだ安定せず、苦しい状況の段階からダム式経営をおこなおうという気持ちがなければできない、そういうことではないでしょうか。まずは、「思ふこと」、これが大切なんですよ。

ですから、簿記1級の勉強をするにあたっては、まずは、次の試験で「必ず合格する！」と思ってください。不合格になったらどうしようという不安が脳裏をよぎることもあるでしょうが、まだ受けてもいい試験のことをあれこれ考えてもいいことはありません。それよりも、自分は合格するんだ、合格したらあれをやろう、こういう仕事をしよう、という思いだけをもって勉強するようにしましょう。

一見するとなんでもないようなことに感じますが、この「合格するんだ！」という思いこそが、合否を分ける最終的な分岐点になると思うのです。「3回の受験で合格すればいいや」といった思いで学習すると、合格するために必ず3回以上の受験を経験することになってしまいます(私が経験済みです)。それくらい、「思い」というものは強い力を持ちますので、ぜひ、良い結果となる方にこの「思い」を持つように心がけて下さい。



ビジネスゲームで経営と会計に力を

M-Cass

簿記会計





日商簿記 2 級合格コース

簿記検定試験の種類

簿記 2 級の検定試験には、①日本商工会議所主催の日商簿記検定試験、②全国商業高等学校主催の全商簿記検定試験、③全国経理学校協会主催の全経簿記検定試験の 3 種類があります。本コースは、その中でも最も受験者の多い（平成 27 年度は 54 万人が受験）日本商工会議所主催の簿記検定試験向けのコースです

最近の日商簿記検定

最近の日商簿記 2 級検定試験は、平成 27 年から平成 30 年 4 月において大きく出題範囲が改訂されました。その内容は、従来簿記 2 級の出題範囲であった特殊商品売買や、社債等が簿記 1 級に昇格した半面、元々簿記 1 級の出題範囲であった項目が多数簿記 2 級の出題範囲に反映されました。

最近の日商簿記 2 級検定試験結果

	申込者	実受験者	合格者数	合格率	合格率（熊本）
149 回	52,694 名	38,352 名	5,964 名	15.6%	12.0%
148 回	65,560 名	48,533 名	14,384 名	29.6%	19.0%
147 回	63,757 名	47,917 名	10,171 名	21.2%	16.9%
108 回	76,603 名	59,904 名	28,083 名	46.9%	—

最近の日商簿記 2 級検定試験は、平成 27 年以降の出題範囲の改訂より、合格率が約 20%前後と以前の検定試験合格率約 40%と比較しても約半分の合格率となっています。原因として考えられるのが、出題範囲が改訂前より広くなったことなどと思われます。

【質問】では、最近の日商簿記2級検定試験に合格することは困難なのでしょうか？

【解答】いいえ。そのようなことはありません。不合格者が多い原因は、学習の消化不良によるものです。以前より出題範囲が多くなったことで、学習範囲のほとんどを消化することない上に、さらに学習した範囲もしっかりと定着することなく、受験してしまうからなのです。

簿記2級の出題範囲(主な変更点)

- ①外貨建取引
 - ②リース取引
 - ③ソフトウェア
 - ④税効果会計
 - ⑤連結会計
- 等があります。

簿記検定1級の出題範囲が2級に入った結果、**難化傾向にあり社会人が合格しづらくなっています。**

よって、当コースでは

「ゲームやワークを中途する体感学習」と「知識を定着化させるスパイラル学習」を実施

していき、**お時間のない社会人が「短期合格」を目指す**ことができます。

～合格までの道のり～基礎知識インプットはウェブ講義で、発展・応用は反転授業で。

学 習 ス ケ ジ ュ ー ル						
1 か月目	2 か月目	3 か月目	4 か月目	5 か月目	6 か月目	本試験
合格コース (反転授業によるライブ講義)						日商簿記検定
商業簿記 全 5 回		工業簿記 全 4 回		試験対策 全 2 回		
本科コース				答練コース		

商業簿記本科全5回・工業簿記本科全4回・試験対策全2回の合計11回(反転授業)のコースです。

1ヶ月に2回の教室に来てのアクティブラーニングを主体としたライブ講義を行います。

基礎知識のインプットは、テキストとウェブ講座により自学習していただきます。

開講講座

合格コース(11回)	75,000円(税込) 1ヶ月あたり12,500円です。	他社比較
ウェブ講義+反転授業+直前対策が入った合格フルコースです。		TAC簿記検定2級講座
本科コース(9回)	53,000円(税込) 1ヶ月あたり8,833円です。	2級ダイレクト合格本科
ウェブ講義+反転授業の基礎知識構築コースです。		Web講座78,800円
答練コース(5回)	32,000円(税込) 1回6,400円です。	DVD講座95,000円
直前対策のみのアウトプット重視の既学習者向けのコースです。		



ビジネスゲームで経営と会計に力を

M-Cass

経験豊富なベテラン講師陣



平井 孝道 Takamichi Hirai

日本公認会計士準会員/公認会計士試験合格
 専修大学経済学部経済学科卒業。㈱TAC 日商簿記検定3級講座・税理士試験簿記論講座の講師を5年、その後独立。㈱リンクアカデミー資格スクール大衆にて簿記検定1級講座の全国配信専任講師を15年勤める。また、公認会計士業務として上場企業の内部統制構築・運営のコンサルティング業務、地方自治体包括外部監査、学校法人監査、社会福祉法人の経理システム導入指導などに従事。
 公認会計士業務での実務経験から、「決算書の数字が読める、活かせる」ようになるビジネスゲームを開発、ビジネスゲームを使ったビジネスパーソン向けセミナーの全国普及を目指す。



高木 昭宏 Akihiro Takaki

税理士試験会計科目/日商簿記1級/建設業経理士1級等合格
 熊本大学大学院修了。専門学校や大学・企業にて簿記検定講座やファイナンシャルプランニング講座等で講師を20年以上担当。「本質理解」を目指し、知りたい知識を覚えるのではなくスツと体にしみこむような指導法で多くの資格取得者を輩出する。また、会計知識を活かす趣味の株式投資における幅広い知識と鋭い分析力にも定評がある。



2019年日商簿記検定2級試験対策講座(2コース)のご案内

講座名	対象者	内容	日程および料金
2月検定試験向け 直前対策講座 (全5回)	既学習者 受験経験者	ゲームとワークを中心に アウトプット重視の解説 を行い、知識を速習して いただきます。	開講日：12月6日(木) 毎月、第1・第3木曜日に開催 時間：19時～21時まで 料金：32,000円(税込) 分割払い：6,800円/回
6月検定試験向け 直前対策講座 (全11回)	初学者 既学習者	ウェブ講義で基礎知識を インプットしていただき、 月2回教室に来て、反転授 業でアウトプットして いただきます。	開講日：12月12日(水) 毎月、第2・第4水曜日に開催 時間：19時～21時まで 料金：75,000円(税込) 分割払い：13,000円/月

ガイダンスと説明会を行います

日時：12月6日(木) 時間：19時～21時
 場所：熊本産業支援財団夢挑戦プラザ会議室

【内容】

- ・合格のための講座の受け方
- ・科学的戦略的な学習方法について解説
- ・ビジネスゲームで簿記の流れを理解

時間に制約のある金融機関の方々が 確実に成果を出す

M-Cass独自の学習メソッド



アクティブ・ラーニング

座学である受動学習は非常に学習効率が悪いことから、当社ではビジネスゲームやワークなどを使った能動学習を主体とします。

反転授業

日頃の基礎知識のインプットは自学習で済ませていただき、定期的に教室に来ていただいたときに、発展、応用や解答戦略など実践的な内容を学習していただきます。

学習方略

自己流の不合理な学習方法を科学的で戦略的な学習方法に改めていただき、確実に成果の出る学習方法をマスターしていただきます。

問い合わせ先

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原 2081-10 株式会社 M-Cass
TEL:096-289-7200 FAX:096-300-3355 MAIL:hirai@m-cass.co.jp